

伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	平成21年度					平成22年度					
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課	
地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、循環型社会のまち	計画的な推進体制の確立	地球温暖化防止推進計画の策定	地球温暖化防止に向けた取組を、総合的・計画的に推進するための方針を策定します。	・研修会、説明会に出席し、情報収集を行った。	—	—	—	環境課	・市域から排出される温室効果ガスの推計値を把握。 (1990年、2006年、2007年) ・三重県地球温暖化防止計画(区域施策編)の進捗状況を確認。 ※数値などを県の計画と合わせた形で策定予定。	—	—	—	環境課	
		資源・エネルギーの有効利用	新エネルギー導入の推進	環境負荷の少ない新エネルギー機器等の普及を進めます。	・家庭用太陽光発電機器設置者へ補助金を交付(交付件数80件) ・広報紙へ太陽光発電機器設置推進の啓発記事を掲載	家庭用新エネルギー普及推進事業	4,800	内訳: 一般財源2,400千円 経済交付金2,400千円	環境課	・家庭用太陽光発電機器設置者へ補助金を交付(募集件数80件)	家庭用新エネルギー普及推進事業	4,800	—	環境課
				・公用車の低公害車への買い替え ハイブリッド車— 3台 軽乗用車 — 4台 軽貨物車 — 14台	車両購入経費	18,756		管財契約課						
				浜郷地区コミュニティセンター、宮本地区コミュニティセンターへの太陽光発電機器の設置 参考:関連事業名は支出を計上していませんが、地区コミュニティセンター維持管理経費			電力売払収入73千円 ※施設建設時に整備 供用開始 浜郷H14.4 宮本H15.4	市民交流課	浜郷地区コミュニティセンター、宮本地区コミュニティセンターへの太陽光発電機器の設置 参考:関連事業名は支出を計上していませんが、地区コミュニティセンター維持管理経費			電力売払収入73千円 ※施設建設時に整備 供用開始 浜郷H14.4 宮本H15.4	市民交流課	
				伊勢市産業支援センターへ太陽光発電設備を設置	太陽光発電設備設置事業	23,255		産業支援課						
									小学校4校(中島、厚生、佐八、明倫)へ太陽光発電機器を設置した。	小学校整備事業(公共交付金)(共通分)	当初予算 81,000 流用後 82,793	平成21年度繰越事業	教育総務課	
									御園中学校へ太陽光発電機器を設置した。	中学校整備事業(公共交付金)(共通分)	21,620	平成21年度繰越事業	教育総務課	
									厚生中学校へ太陽光発電機器を設置した。	厚生中学校校舎改築事業	18,500		教育総務課	
									五十鈴中学校へ太陽光発電機器を設置した。	五十鈴中学校校舎改築事業	18,500		教育総務課	
		資源、エネルギーの循環利用の推進	資源循環型社会構築のため、資源・エネルギーを循環させる仕組みづくりを行います。	伊勢商工会議所環境委員会生ごみ(新エネ)研究会に研究会委員として参加し、バイオガス利用の事業化に向けた検討を行った。 また、環境省中部地方環境事務所の協力を得て小俣町の上久保自治会地域において燃えるごみから生ごみを分別・排出する実験を行った。	—	—	—	環境課	伊勢商工会議所環境委員会生ごみ(新エネ)研究会に研究会委員として参加し、バイオガス利用の事業化に向けた検討を行い報告書を作成した。 また、環境省中部地方環境事務所の協力を得て野村町会において燃えるごみから生ごみを分別・排出する実験を行った。	—	—	—	環境課	
				・廃食用油について、CATV、広報紙、イベントでのチラシ配布で回収の周知を行った。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図った。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図った。	資源ごみ売払収入	11,653	内廃食用油分 549円	環境課	・廃食用油について、CATV、広報紙、及び講習会の場で啓発を行う。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図る。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図る。	資源ごみ売払収入	9,390		環境課	
		省資源、省エネルギー対策の推進	省資源、省エネルギーな生活・事業活動への転換を行います。	環境管理システムによる市の施設における電気、公用車燃料、事務用紙の使用量の抑制 特に、公用車燃料使用量については、エコドライブ宣言を行い、削減に取り組んだ。	—	—	—	環境課	環境管理システムによる市の施設における電気、公用車燃料使用量、事務用紙使用量の抑制 全ての公用車(緊急車両の除く)にエコドライブステッカーを貼り、意識向上に取り組んだ。	—	—	—	環境課	
				・本館エレベーター改修により使用電力の削減 ・本館暖房用ボイラー改修により使用燃料の削減	庁舎等整備経費	24,833		管財契約課						
				市の施設である街路灯のLED電球への交換による省エネルギー化。	街路施設改良事業	1,699		基盤整備課	市の施設である街路灯のLED電球への交換による省エネルギー化を図る。	伊勢市駅周辺整備事業	70,700		基盤整備課	
			サン・サポート・スクエア伊勢内にLED照明灯を5基設置した。	企業立地推進一般経費	2,546		産業支援課							

伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	平成21年度					平成22年度				
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課
地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、循環型社会のまち	3Rの推進	廃棄物の発生抑制 (Reduce)	廃棄物が発生しない生活・事業活動への転換を行いません。	出前講座として、自治会にてごみに関する講座を開催した。(説明会開催回数2回、参加人員 延べ60人)	—	—	—	環境課	出前講座として、自治会にてごみに関する講座を開催した。(説明会開催回数2回、参加人員 延べ60人 H22.12末現在)	—	—	—	環境課
				事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋を有料化することでマイバグの持参を促し、余分なレジ袋を削減する取り組みを行っている。	—	—	—	環境課	事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体・市が協力して、市内スーパー等のレジ袋を有料化することでマイバグの持参を促し、余分なレジ袋を削減する取り組みを行っている。	—	—	—	環境課
									市内事業者を対象に、一般廃棄物に関する調査を行ない、排出量削減のための施策について検討した。 ●10事業者に対し排出ごみの構成・組成分析調査 ●1,000事業者に対し文書アンケート調査	ごみ減量・資源化推進事業	3,063		環境課
		廃棄物の再利用 (Reuse)・再生利用 (Recycle)の推進	再利用・再生利用のしくみづくりを行ない、焼却・埋立ごみの減量を図ります。	生ごみの減量化のため、ごみ減量化容器の購入に要する経費の一部を助成した。 ※補助率1/2 3万円上限	ごみ減量化容器設置補助金事業	3,470		環境課	生ごみの減量化のため、ごみ減量化容器の購入に要する経費の一部を助成した。 ※補助率1/2 3万円上限	ごみ減量化容器設置補助金事業	4,800		環境課
				ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付した。	再生資源奨励金	16,548		環境課	ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付した。	再生資源奨励金	16,242		環境課
		廃棄物の適正処理	自然環境・生活環境に影響がかけられないような適正な処理を行いません。	・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出した。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行った。	伊勢広域環境組合負担金(し尿)(ごみ)	1,071,942		環境課	・廃棄物の適正処理のため、伊勢広域環境組合に負担金を支出した。 ・事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行った。	伊勢広域環境組合負担金(し尿)(ごみ)	1,065,453		環境課
				・市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして174自治会より推薦された377名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。	ごみ減量・資源化事業一般経費	2,166		環境課	・市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして174自治会より推薦された377名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。	ごみ減量・資源化事業一般経費	2,262		環境課
		推進基盤の整備	3Rを地域全体として進める基盤として、ごみ収集方法等の統一を進めます。	旧伊勢市・御園町における燃えるごみの集積化、二見・小俣・御園地域における資源ごみの指定日排出方式を調整した。自治会等との協働事業にて集積化を推進した。	廃棄物集積化設置補助金	61,465		環境課	旧伊勢市・御園町における燃えるごみの集積化の随時推進、二見・小俣・御園地域における資源ごみの指定日排出方式を段階的に実施した。完全集積化に向け自治会との協働事業を進めた。	廃棄物集積化設置補助金	305,582	内訳 平成21年度繰越分 121,778千円 平成22年度分 180,804千円	環境課
				“伊勢市ごみ問題市民会議”と協働し、3Rの推進及び不法投棄防止啓発を目的に、市内小中学校を対象に「ごみゼロポスター」を募集した	きれいなまちづくり推進事業	605		環境課	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”と協働し、3Rの推進及び不法投棄防止啓発を目的に、市内小中学校を対象に「ごみゼロポスター」を募集した	きれいなまちづくり推進事業	494		環境課

伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	平成21年度					平成22年度					
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課	
豊かな自然が守られた、水と緑と人が共生する魅力あるまち	自然環境の保全	生物多様性の確保	動植物の生息環境を保全し、生物多様性の確保に努めます。	水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養の他、水質浄化などの役割を持つ干潟において、地区漁業者が中心となっている活動組織が行う耕うん・稚貝の沈着促進等の保全に係る活動を支援し、干潟の機能回復等に努めた。	干潟保全活動支援事業	575,000		農林水産課	水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養の他、水質浄化などの役割を持つ干潟において、地区漁業者が中心となっている活動組織が行う耕うん・稚貝の沈着促進等の保全に係る活動を支援し、干潟の機能回復等に努めた。	干潟保全活動支援事業	775,000		農林水産課	
				護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図った。 (又作川、大倉川、亀谷郡川、西山川、朝川、五十鈴川)	・河川改良事業 ・準用河川大堀川支川改修事業(防衛) ・河川災害復旧事業	244,250		基盤整備課	護岸ブロックに環境保全型を使用、また植生ロール、みお筋等の多自然型工法を取入れ植生の早期復元を図る。 (船江山川、五十鈴川[2箇所]、朝川[2箇所])	・河川改良事業 ・準用河川大堀川支川改修事業(防衛) ・河川災害復旧事業	207,816		基盤整備課	
				護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図った。 (又作川、大倉川、亀谷郡川、西山川、朝川、五十鈴川)	・河川改良事業 ・準用河川大堀川支川改修事業(防衛) ・河川災害復旧事業	244,250		基盤整備課	護岸ブロックに環境保全型を使用、また植生ロール、みお筋等の多自然型工法を取入れ植生の早期復元を図る。 (船江山川、五十鈴川[2箇所]、朝川[2箇所])	・河川改良事業 ・準用河川大堀川支川改修事業(防衛) ・河川災害復旧事業	207,816		基盤整備課	
				護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図った。 (又作川、大倉川、亀谷郡川、西山川、朝川、五十鈴川)	・河川改良事業 ・準用河川大堀川支川改修事業(防衛) ・河川災害復旧事業	244,250		基盤整備課	護岸ブロックに環境保全型を使用、また植生ロール、みお筋等の多自然型工法を取入れ植生の早期復元を図る。 (船江山川、五十鈴川[2箇所]、朝川[2箇所])	・河川改良事業 ・準用河川大堀川支川改修事業(防衛) ・河川災害復旧事業	207,816		基盤整備課	
				開発事業計画に先立ち、特筆すべき動物、植物の生息、育成を確認し監視することにより、環境負荷軽減のための的確な対策を講じ、環境保全に努めます。	朝熊山麓開発用地維持管理事業	666		維持課						
									三重短期大学主催の「政策研究研修」環境政策立案のための基礎概念としての『生物多様性』に関する共同研究～内容理解に基づく応用を目指して～のテーマ研修に参加している。	—	—	—	環境課	
		公害等への対応	公害関係法令等に定める環境基準を遵守し、自然環境を保全します。	公害関係法令の遵守に係る指導	—	—	—	環境課	公害関係法令の遵守に係る指導	—	—	環境課		
		生活排水対策の推進	水質汚濁の防止・改善、及び良好な生活環境の確保のため、生活排水対策を推進します。	第2期事業認可区域の整備を進め、下水道供用区域の拡大を図った。 ・下水道供用面積:34.32ha増 ・処理区域内人口:2,086人増	・流域関連公共下水道交付金事業費 ・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	2,717,974		上下水道総務課	第3期事業認可区域を拡大し整備すると共に第2期事業認可区域の完成を目指し、下水道供用区域の拡大を図る。	・流域関連公共下水道交付金事業費 ・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	2,734,339		上下水道総務課	
					国土交通省の委託を受け、宮川の流水を勢田川へ導水することにより、勢田川、豊川、及び市内幹線排水路の浄化を図ります。	勢田川浄化事業	16,700		維持課	国土交通省の委託を受け、宮川の流水を勢田川へ導水することにより、勢田川、豊川、及び市内幹線排水路の浄化を図る。	勢田川浄化事業	17,425		維持課
					市内の河川、海域の水質調査(河川10地点、海域6回)	調査事業	2,045		環境課	市内の河川、海域の水質調査(河川11地点、海域6回)	調査事業	2,182		環境課
					・“伊勢河川海域環境美化推進協議会”とともに、7/5「勢田川七夕大そうじ」を開催し、約3,000人のボランティア清掃を行なった。	—	—	—	環境課	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、7/4「勢田川七夕大そうじ」を開催し、約3,000人のボランティア清掃を行なった。	生活排水対策啓発事業	1,100		環境課
“伊勢河川海域環境美化推進協議会”とともに、10/31 市立大湊小学校文化祭へ生活排水対策啓発ブースを出展した	生活排水対策啓発事業				593		環境課							
“伊勢河川海域環境美化推進協議会”とともに、1/10「いせトピア新春まつり」へ生活排水対策啓発ブースを出展した。	生活排水対策啓発事業				593		環境課							
“伊勢河川海域環境美化推進協議会”とともに、2/2、9「エコクッキング及び生活排水対策活動啓発講習会」を開催した。	生活排水対策啓発事業	593		環境課	“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、2/8、16「エコクッキング」を開催する。	生活排水対策啓発事業	1,100		環境課					
・浄化槽設置世帯へ補助金を交付 交付件数は以下の通り (下水道認可区域) 5人槽*129基 高度5人槽*39基 7人槽*127基 高度7人槽*39基 10人槽*16基 高度10人槽*2基 高度50人槽*1基 (下水道認可区域) 5人槽*20基 7人槽*10基 10人槽*0基	合併浄化槽設置整備事業補助金	145,752		環境課	・浄化槽設置世帯へ補助金を交付 予算件数は以下の通り (下水道認可区域) 5人槽*98基 高度5人槽*107基 7人槽*92基 高度7人槽*72基 10人槽*7基 高度10人槽*2基 高度10～50人槽*2基 (下水道認可区域) 5人槽*24基 7人槽*26基 10人槽*1基	合併浄化槽設置整備事業補助金	166,774		環境課					

伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	平成21年度					平成22年度				
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課
豊かな自然が守られた、水と緑と人が共生する魅力あるまち	自然環境の保全	自然とのふれあいの増進	自然を満喫し、また、自然環境保全の意識を醸成するため、自然とふれあう機会や環境の整備を行います。	・“100万人のキャンドルナイト伊勢実行部隊”とともに、勢田川親水等を目的に、勢田川沿岸にキャンドルを灯す「100万人のキャンドルナイト伊勢」を7/11に開催した	—	—	—	環境課	・“100万人のキャンドルナイト伊勢実行部隊”とともに、勢田川親水等を目的に、勢田川沿岸にキャンドルを灯す「100万人のキャンドルナイト伊勢」を8/7に開催した	—	—	—	環境課
				・“伊勢河川海域環境美化推進協議会”とともに、8/19市内小学生を対象に「水生生物による水質調査」を実施した。	生活排水対策啓発事業	593		環境課	・伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、8/6「水生生物による水質調査」を実施した。	生活排水対策啓発事業	1,100		環境課
	公益的機能の保全	森林の公益的機能の保全	森林の有する公益的機能(水源の涵養、自然災害の防止等)を発揮することができるよう、適正な森林管理を推進します。	・環境保全林において2.4haの間伐を行った。三郷山1.9ha 横輪0.5ha	環境保全林整備事業	1,601		農林水産課	・環境保全林において6.0haの間伐を行う。三郷山・横輪	環境保全林整備事業	2,200		農林水産課
				・二見西・松下地区(11,217㎡)において、国の事業を活用し、農地管理組合等により遊休農地を活用した景観作物等(そば、菜種、蓮)の植栽を委託した。	遊休農地活用事業	600		農林水産課	・二見西・松下地区(約15,000㎡)において、国の事業を活用し、農地管理組合等により遊休農地を活用した景観作物等の植栽を委託する。	遊休農地活用事業	1,734		農林水産課
							地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、遊休農地を営農可能な状態にするための支援を行う。 ※営農希望者がいれば、遊休農地の紹介をする形になるが、現時点で0件。	—	—	—	農林水産課		
		地産地消認定制度の展開及び100%市内産米の米飯給食をめざし、学校給食用米の市内での生産拡大を進めるため、生産者の取りまとめや指導等をJA伊勢に委託、事業を推進し農業振興に努めた。 (飲食店9、小売店4、量販店4、宿泊施設2、直売店2 計23)	地産地消推進事業	1,414		農林水産課	地産地消認定制度の展開及び100%市内産米の米飯給食をめざし、学校給食用米の市内での生産拡大を進めるため、生産者の取りまとめや指導等をJA伊勢に委託、事業を推進し農業振興に努めた。 (飲食店23、小売店5、量販店4、宿泊施設2、直売店4 計38)	地産地消推進事業	1,553		農林水産課		

伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	平成21年度					平成22年度				
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課
歴史・文化の薫る、快適に暮らせるまち	生活環境の保全	まちの美化	生活者も来訪者も快適に過ごせる地域の環境美化、衛生環境の向上に努めます。	・“伊勢市ごみ問題市民会議”とともに、ごみゼロの日近くに伊勢市駅前て早朝清掃を実施した。	きれいなまちづくり推進事業	605		環境課	・“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、ごみゼロの日近くに伊勢市駅前て早朝清掃を実施した。	きれいなまちづくり推進事業	494		環境課
		住環境の向上	騒音、振動、悪臭が適切に管理された快適な住環境の実現をめざします。	公害関係法令の遵守に係る指導	—	—	—	環境課	公害関係法令の遵守に係る指導	—	—	—	環境課
		水資源の確保	良質な水を効率的に安定して供給できる体制を保持します。	・中須水源地の取水井を更新してポンプ2基を設置し、水源地の取水能力を確保した。 ・配水管、給水管の漏水調査を委託して15箇所の漏水を発見し、修繕を行って漏水の抑制を図った。	・原水施設等設置事業(本庁) ・配水及び給水管維持管理事業(本庁)	116,394		上水道課	・配水管、給水管の漏水調査を委託して漏水箇所の修繕を行ない、漏水の抑制を図る。	・配水及び給水管維持管理事業(本庁)、配水及び給水管維持管理事業(小俣)	10,500		上水道課
		景観に配慮したまちづくり	伊勢の歴史や文化が感じることができる景観形成を推進します。					伊勢市景観条例に規定する重点地区(内宮おはらい町地区・二見町茶屋地区)において建築物の修景に対し助成	景観形成推進事業	5,000		都市計画課	
	公園、緑地の充実	潤いや安らぎを感じられるための都市環境として、公園・緑地の充実を図ります。	公園用地に花壇等を設置し、四季折々の植栽を行なうことで市民に対する関心を高め、市民参加の「花のまちづくり」の推進を図ります。	花のまちづくり推進事業	3,776		維持課	公園用地に花壇等を設置し、四季折々の植栽を行なうことで市民に対する関心を高め、市民参加の「花のまちづくり」の推進を図る。	花のまちづくり推進事業	2,893		維持課	
	バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	バリアフリー、ユニバーサルデザインを推進し、誰もが快適に生活できるまちの実現をめざします。	市の公園施設において、段差解消・ベンチの設置・水飲み場などのバリアフリー化の実施。	伊勢市駅周辺整備事業	7,766		基盤整備課	市の公園施設において、段差解消・ベンチの設置・水飲み場・便所などのユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図る。	・都市公園・安全対策事業 小俣本町地区周辺整備事業	53,600		基盤整備課	
	伊勢の環境文化の保全と発信	伊勢のまちで醸成された環境文化を保全、発信します。	皇學館大学生と環境ミーティング(意見交換会)を行った。	—	—	—	環境課	皇學館大学生と環境ミーティング(意見交換会)を2月末に行う。	—	—	—	環境課	

伊勢市環境基本計画 施策推進確認シート

基本目標	大項目	小項目	内容	平成21年度					平成22年度								
				施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	備考	事業担当課	施策推進に係る取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)	備考	事業担当課				
協働でつくる、人と環境にやさしいまち	環境教育・環境学習の強化	環境情報の整備	伊勢市の環境に関する情報について把握するとともに、理解・利用がしやすいよう、わかりやすく整理します。	環境報告書(えこのおと)を作成した。	—	—	—	環境課	・環境報告書(えこのおと)を作成中 ・ホームページ掲載事項の強化 ※市の取組紹介や他機関へのリンク等	—	—	—	環境課				
		学習機会の充実	環境についての正しい理解と認識を深め、行動する人材を育成するため学習機会の充実を図ります。	出前講座として、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。(説明会開催回数 延べ13回、参加人員延べ283人)	—	—	—	環境課	出前講座として、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。(説明会開催回数 延べ18回、参加人員延べ550人 H22.12末現在)	—	—	—	環境課				
				・伊勢河川海域環境美化推進協議会”伊勢市ごみ問題市民会議”及び”伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、5/30、31開催された「全国花いっぱい伊勢大会」にて啓発ブースを出展した。 ・伊勢河川海域環境美化推進協議会”伊勢市ごみ問題市民会議”及び”伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、10/11「環境フェア」を開催した。	環境リサイクルフェア等開催事業 きれいなまちづくり推進事業 生活排水対策啓発事業	435 605 593	—	—	環境課	・伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”とともに、10/10「環境フェア」を開催した。	環境フェア等開催事業 きれいなまちづくり推進事業 生活排水対策啓発事業	475 494 1,100	—	環境課			
				・高麗広ふれあいハイキングの実施(11月23日 参加者150名 内宮駐車場前～高麗広公民館[片道約8km])	公民館管理運営経費	48	—	—	生涯学習・スポーツ課	・高麗広ふれあいハイキングの実施(11月23日 参加者約100名 内宮駐車場前～高麗広公民館[片道約8km])	公民館管理運営経費	78	—	生涯学習・スポーツ課			
				●10/1ええやんか！マイバッグ(レジ袋有料化)検討会(市・事業所・市民団体で、市内レジ袋の削減の検討)の開催	—	—	—	—	環境課	●7/27ええやんか！マイバッグ(レジ袋有料化)検討会(市・事業所(スーパーマーケットなど)・市民団体で構成)において、レジ袋の収益金の一部で環境活動を募集した。	—	—	—	環境課			
環境保全活動の推進	環境保全活動の推進	市民の活動推進	市民一人ひとりが環境に配慮した暮らしを实践し、また、地域やグループにより環境活動の推進を図ります。	“伊勢河川海域環境美化推進協議会”伊勢市ごみ問題市民会議”及び”伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”や、生ごみ研究会などのさまざまな機会にネットワークの形成に努めた。	—	—	—	環境課	“伊勢市ごみ問題市民会議”や、生ごみ研究会などのさまざまな機会にネットワークの形成に努めた。 また、“伊勢河川海域環境美化推進協議会”伊勢市ごみ問題市民会議”は、“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”への実質的に統合し、幅広い分野で連携できる体制を構築した。	—	—	—	環境課				
		事業者、団体等の活動推進	事業活動における環境負荷の軽減や、地域活動等への協力を推進します。											—	—	—	—
		市民、事業者、市の連携の推進	市民、事業者、市が情報共有し、意思疎通を図り、相互理解のもと協働で活動展開できるようネットワークの形成を図ります。											—	—	—	—

伊勢市環境基本計画重点事業 進捗確認シート

事業名	目標指標	平成26年度 目標値	平成20年度 現状値	担当課	平成21年度				平成22年度			
					実績値	取組内容	事業名(中事業)	決算額(千円)	目標値	取組内容	事業名(中事業)	予算額(千円)
1 伊勢市地球温暖化防止推進計画の策定	計画の策定	平成22年度 中策定予定	未策定	環境課	未策定	・研修会、説明会に出席し、情報収集を行った。	なし	なし	未策定	・市域から排出される温室効果ガスの推計値を把握。 (1990年、2006年、2007年) ・三重県地球温暖化防止計画(区域施策編)の進捗状況を確認。 ※数値などをH23年度当初策定予定の県の計画と合わせた形で策定予定。	なし	なし
2 家庭用太陽光発電機器設置の推進	一般家庭における太陽光発電機器設置件数	1,000件	504件	環境課	584件	・家庭用太陽光発電機器設置者へ補助金を交付(交付件数80件) ・広報いせへ太陽光発電機器設置推進の啓発記事を掲載	家庭用新エネルギー普及推進事業	2400(一般財源) 2400(経済交付金)	664件	・家庭用太陽光発電機器設置者へ補助金を交付(募集件数80件)	家庭用新エネルギー普及推進事業	4,800
3 天ぷら油のバイオディーゼル燃料としての再利用	天ぷら油の分別回収量	82,000ℓ	11,840ℓ	環境課	21,978ℓ	・CATV、広報いせ、イベントでのチラシ配布で回収の周知を行った。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図った。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図った。			26,544ℓ	・CATV、広報いせ、及び講習会の場で啓発を行う。 ・バイオディーゼル燃料として再利用を図る。 ・市内公衆浴場で、重油、焚きつけ材にかわる燃料として再利用を図る。		
4 生ごみ等のバイオガス利用の検討	-	-	-	環境課	-	伊勢商工会議所環境委員会生ごみ(新エネ)研究会に研究会委員として参加し、バイオガス利用の事業化に向けた検討を行った。 また、環境省中部地方環境事務所の協力を得て小俣町の上久保自治会地域において燃えるごみから生ごみを分別・排出する実験を行った。	なし	なし	-	伊勢商工会議所環境委員会生ごみ(新エネ)研究会に研究会委員として参加し、バイオガス利用の事業化に向けた検討を行い報告書を作成した。 また、環境省中部地方環境事務所の協力を得て野村町会において燃えるごみから生ごみを分別・排出する実験を行った。	なし	なし
5 ごみの収集方法等の統一	燃えるごみの集積化率	100.0%	58.2%	環境課	58.7%	旧伊勢市・御園町における燃えるごみの集積化、二見・小俣・御園地域における資源ごみの指定日排出方式を調整した。 自治会等との協働事業にて集積化を推進した。	廃棄物集積所設置補助金	61,465	100%(見込み)	旧伊勢市・御園町における燃えるごみの集積化の随時推進、二見・小俣・御園地域における資源ごみの指定日排出方式を段階的に実施した。完全集積化に向け自治会との協働事業を進めた。	廃棄物集積所設置補助金	302,582
6 生活排水対策ハード整備の推進	下水道普及率	47.6%	29.7%	上下水道 総務課	32.8%	第2期事業認可区域の整備を進め、下水道供用区域の拡大を図った。 ・下水道供用面積:34.32ha増 ・処理区域内人口:2,086人増	・流域関連公共下水道交付金事業費 ・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	2,717,974	38.8%	第3期事業認可区域を拡大し整備すると共に第2期事業認可区域の完成を目指し、下水道供用区域の拡大を図る。	・流域関連公共下水道交付金事業費 ・流域関連公共下水道補助事業費 ・流域関連公共下水道単独事業費	2,734,339
	市内全域の水洗化率	61.1%	42.4%	環境課	48.1%	・浄化槽設置世帯へ補助金を交付 ・広報いせへ浄化槽設置推進の啓発記事を掲載	合併処理浄化槽設置整備事業補助金	145,752	51.5%	・浄化槽設置世帯へ補助金を交付 ・広報いせへ浄化槽設置推進の啓発記事を掲載	合併処理浄化槽設置整備事業補助金	166,774
7 遊休農地の利活用	農用地面積における遊休農地の割合	1.5%	3.1%	農林水産課	3.1%	二見地区において、国の事業を活用し、農地管理組合等により遊休農地を活用した景観作物等の植栽を委託した。	遊休農地活用事業	600	2.9%	二見地区において、国の事業を活用し、農地管理組合等により遊休農地を活用した景観作物等の植栽を委託。 また、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、遊休農地を営農可能な状態にするための支援を行う。	遊休農地活用事業	1,734
8 伊勢の環境についての情報発信、PRの推進	市HPにおける環境関連のコンテンツ数	250件	83件	環境課	96	・各種計画策定等に関する情報公開 ・環境報告書(えこのおと)の公開した。 ・キャンドルナイト等のイベントに関する情報を増やした。	なし	なし	120	・各種環境(ごみ減量、ごみ分別、リサイクル情報等)に関する啓発の追加 ・各団体さんの取組み情報の公開等 ・環境報告書(えこのおと)を公開予定	なし	なし